



ムフラン、いままで ありがとう！



4月6日の夕方、ムフランは天国に旅立ちました。。。

13年もの間、保育園のみんなに大切にもらい、毎朝おいしい草、キャベツやニンジンの皮をもらって、とっても幸せでした。

児童クラブのお友だちと園のまわりを散歩したことも楽しい思い出です。

保護者や地域のみなさんにも可愛がってもらいました。

本当にありがとうございました。

みんなのこと、わすれないよ♡だいすきだよ



社会福祉法人



めいしょうほいくえん 明照保育園



幼保連携型こども園 明照保育園

〒441-8093 豊橋市牟呂中村町6-1

Tel 31-1419 Fax 31-1499

<http://www.tcp-ip.or.jp/~meisyou/index.htm>

理事長 & 園長 中島 章裕

かわいいことは、
ホームページにどんでん
アクセスしてね!

見学どうぞ
(連絡してね!)

保育のねらい・大切にしていること

『心身ともにたくましく、思いやりのある子ども』

★豊かな感性と心情、まわりのものへの関心や意欲、
人との温かい関わり合いの中で生きていく姿勢を育みたいと思います。★

【養護】

ひとりひとりの個性を見つめ、
情緒の安定を図り、温もりのある
保育をします。

【生活・遊び】

生活リズムを大切にし、自己活動と、友だちと
協調できる活動を、生活や遊びを通して
総合的に経験するようにしています。

【文化的活動】

個々の特性に応じながら、発達課題を
配慮していろいろな体験ができる
環境を整えます。

◇小学校区 主に牟呂小学校と汐田小学校

◇職員状況 園長・副園長・主幹保育教諭
保育教諭 50名 調理員6名
事務員等 臨床心理士(嘱託)

◇基本保育時間 平日 8:00~16:00
土曜日 8:00~12:00

◇施設について(敷地面積 1,615.17㎡)
園舎 鉄筋コンクリート造3階建 延べ 1,876.75㎡

◇一年の行事・保育・家庭との交流

◇園児数 (R2.11.1 現在)

年齢	0	1	2	3	4	5	合計
人数	17	39	53	52	52	53	266

延長保育 平日 7:30~19:00
土曜日 7:30~12:30

◇保護者との連絡・交流

園だより(学年だより)・保健だより
献立表・早起きカレンダー

4	◎入園式 ◎始業式 ◎家庭訪問 ◎総会
5	◎親子遠足 ◎保育参加(学年ごと) ○内科健診 ○歯科健診
6	◎フリーマーケット ◎個人懇談会
7	○七夕会 ○年長児宿泊保育
8	◎夕涼み会 ○夏季保育
9	◎祖父母のつどい
10	◎園内運動会 ○内科健診 ○いもほり・焼きいもパーティー
1	◎明照まつり(ハザ-) ○七五三宮参り ◎年長児おわかれ遠足
12	◎作品展 ○クリスマス会 ○もちつき
1	○おめでとう会 ○保育参加
2	○節分豆まき(園内・校区交流)
3	◎遊戯会 ◎卒園児保護者会と三代交流会 ○お別れ会 ○お茶会 ◎卒園式 ○修了式

・身体測定・誕生会・避難訓練・交通安全指導(毎月)
・検便と検尿(年1回)・健康診断(年2回)・歯科健診
・◎印は、ご家庭の方も参加する行事です。
・定期的に、園のバスで園外保育に出かけます。
・未入園児家庭を対象に定期的に、
・年齢ごとの『親子ひろば』と園庭開放を行っています。
・月1回土曜日に、小学生以上の子どもや地域の大人
が保育に参加する『なかよし保育』を行っています。

- ・送迎時の懇談
- ・個人懇談会
- ・“お知らせくん”…クラスの毎日の保育の様子を、その日のうちに保護者の携帯電話に配信します
- ・保育参加・給食(おやつ)試食会
- ◇家庭との交流
 - ・映像による園だより
 - 『明照げんきっ子ビデオ』(無料貸出)
 - ・四季折々の行事・育児相談 など
- ◇食物アレルギーについて
 - ・医師の指導の下、除去食・代替食等で対応しています
- ◇入園時の諸経費
 - ・園服園帽・保育教材 等
- ◇特別保育の実施状況
 - ・時間延長保育・子育て支援事業
- ◇通園バス なし(園外保育用のみ)

赤ちゃんから年長さんまでが集う保育園に、小6までの児童クラブも併設され、集団ならではの良さを生かし、『みんなでの楽しさ』を経験する場を大切にしています。臨床心理士も含め、未就園児家庭への子育て支援も積極的に行い、生活リズムや食育などの情報提供を行っています。ご家族の方との交流はもちろん、地域や小中学校との温かいかかわりの中で、文化を大切にしつつ、四季折々の保育をすすめています。運動面、絵画造形面、食育の面等から子どもの成長を支えられるよう、職員全員で連携をし、一人ひとりの豊かな成長を見つめていきたいと思っています。

社会福祉法人明照保育園 幼保連携型認定こども園 明照保育園 全体的な計画

事業の目的	全ての子どもに認定こども園法に基づいて、乳児及び幼児の教育及び保育事業を行うこと					し地 だに 域 事 対 の 業 実	かつての農漁村から宅地化が進む中、共働き家庭が多く、祖父母が同居または近くに住む家庭も多いものの、祖父母の多くも仕事を持っており、育児の伝承機能や地域総合扶助力が低下している。その為地域のニーズにより、時間延長保育・障害児保育・子育て支援事業・地域交流事業の他、学童保育(明照児童クラブ)もっている。
保育理念 (事業運営方針)	「豊かな体験・遊びを通じ、情緒豊かで自立した子どもを育てる」の保育・教育理念に基づき子どもの人権や主体性、個性を尊重し、1人1人の最善の幸福の為に保護者や地域社会と協力し、児童の福祉を推進する。あわせて地域社会における家庭援助を積極的に行うことで、充実した子育て社会を実現する公的施設として、社会的責任を果たしていくことに努める。						社 会 的 責 任
保育方針	<ul style="list-style-type: none"> 保育に関わる専門職同士がそれぞれの専門性を発揮しながら協力し、養護と教育の一体的な展開を図り、保育の内容の質を高め、充実させる。 子どもの主体的な発達要求にตอบสนองする環境を豊かに整え、自ら興味関心を持って環境に関わり、チャレンジしたことへの達成感を味わえるようにし、心情・意欲・態度を養う。 子どもの24時間の生活を視野に入れ、家庭との連携を密にして、発達過程に応じた育ちを導けるよう、保護者の共感を得て養育力の向上を支援する。 子どもが育つ道筋や生涯教育を見据えた長期的視野を持って、小学校と情報交換をしたり交流を密にしたりして積極的に連携していく。 「保育・教育課程」を柱に「年間指導計画」「月週日案」等の計画を立て、実践後に記録・評価を作成し、一人一人の子どもや年齢別に編成されたクラスにおける「計画・実践・検証・改善」のPDCAサイクルを職員全体で共通把握することで、園全体の向上を図る。 					教育・保育目標とする子ども像	
発達過程とクラス編成	6年制のクラス(幼児6クラス、乳児6クラスの計12クラス)で園生活を送るにあたり、保育指針の8つの発達段階を前提に計画等がなされている。また、1人1人の成長段階をふまえ、養護と教育が一体となり保育が展開される。			行事 主 事 な	入園式・誕生会・健康診断・親子遠足・保育参加と試食会・フリーマーケット・個人懇談会・プール開き・七夕会・年長児宿泊保育・夕涼み会・祖父母のつどい・園内運動会・いもほり・焼きいもパーティー・明照まつり(ハッピー)・七五三宮参り・年長児おわかれ遠足・作品展・クリスマス会・もちつき・節分豆まき・遊戯会・卒園児保護者会と三世交代会・卒園式		
保育時間	*1号認定…平日 8:30~15:30 *2・3号認定…平日 8:00~16:00、土曜日 8:00~12:00 ☆延長保育…平日 7:30~19:00、土曜日 7:30~12:00					保護者・地域・子育て家庭への支援及び取り組み	
保育目標 (保育教諭が行う事項)	0歳児	1歳児	2歳児(満3歳児)	3歳児	4歳児	5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ○【明照げんきっ子ビデオ】園生活を学年ごとにビデオで知らせる ○【お知らせくん】その日の保育の様子を保護者にメール等で知らせる ○【わいわい広場】インターネットの子育て掲示板 ○子育て支援活動(園庭開放・年齢別ひろば・育児相談・情報誌) ○実習生・職場体験の受け入れ ○なにより保育(小中学生・地域との交流) ○地域行事への参加(七五三・節分) ○高齢者施設等との交流 他
	個々の生活リズムを整え、基本的な生活習慣を養う	安心できる保育者との関係の下で、自分でしようとする気持ちが芽生える	衛生的で安全な環境で心身ともに快適な生活を送る	保育者や友だちと遊ぶ中で自分のしたい事、言いたい事を言葉や行動で表現する	保育者や友だちと一緒に遊びながら、つなげたい事を遊戯、集団としての行動ができるようになる	生活や遊びの中で、1つの目標に向かい力を合わせて活動し、達成感や充実感をみんなで味わう	
生命の	<ul style="list-style-type: none"> ・人への基本的信頼感が芽生える ・生理的欲求を満たし、個々の生活リズムを整える 					<ul style="list-style-type: none"> ○実習生・職場体験の受け入れ ○なにより保育(小中学生・地域との交流) ○地域行事への参加(七五三・節分) ○高齢者施設等との交流 他 	
安定の情緒	<ul style="list-style-type: none"> ・発達過程などを的確に把握し、応答的なふれ合いや言葉かけを行う ・依存の欲求を満たす 					<ul style="list-style-type: none"> ・健康に関心を持ち、生活に必要な習慣を身につけられるようにする 	
教育及び保育(教育・保育要領領域の第2章を基に、独自の計画に沿って)	健康	身のまわりの簡単なことを援助してもらいながら自分でしようとする	生活の中で援助してもらいながら自分でできたことに喜びを感じる	身のまわりを清潔にし生活に必要な活動を自分でしようとする	自分の身体に関心を持ち、異常を感じたら自分から保育者等に知らせる	室内外の危険な物や場所、危険な行動を知り気をつけて活動をする	健康 ①明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 ②自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 ③健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身につける。
	人間関係	特定の保育者との関わりにより信頼関係が生まれる	保育者や友だちに関心を持ち真似をしたり自ら関わろうとする	生活や遊びの中で順番を待つなどの決まりがあることを知る	友だちと簡単なルールのある遊びをする中でルールが守れる	共同で使う物の貸し借りができるようになり、我慢することを覚える	人間関係 ・遊びや行事を通じ力を合わせる大切さを知り、友だちを思いやる気持ちを持つ ①身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。 ②身近な環境に自分からかわかり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。 ③身近な事象を見たり、考えたり、触ったりする中で、ものの特徴や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。
	環境	安心できる人的及び物的環境の下で感覚の動きを豊かにする	好きな玩具や遊具に興味を持って積極的に関わり様々な遊びを楽しむ	身近なもので遊んだりする中で、物への愛着や親しみを保持	身近な動植物に親しみをもち世話をすることで生命の尊さに気づく	身近な物や遊具に興味を持って関わり、考え・試すなど工夫して遊ぶ	環境 ・生活や遊びの中で簡単な標識や文字などに関心を持つ ①自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 ②人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 ③日常生活に必要な言葉が分かるようになることともに、絵本や物語などに親しみ、保育教諭等や友達と心を通わせる。
	言葉	語りかけられることにより声を出したり応えようとする	話しかけややり取りの中で声や言葉で気持ちを表そうとする	絵本などで楽しみながら言葉に親しみ、模倣を楽しんだりする	話を聞いたり質問したり、興味のある言葉によるイメージを楽しむ	保育者や友だちとの会話を楽しみ相手に伝えるように話す工夫をする	言語 ・人の話を聞いたり身近な文字に触れたりして言葉への興味を広げる ①いろいろなものや美しさ等に対する豊かな感性を持つ ②聞いたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ ③生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ
	表現	土や水などの素材に触れ全身で感銘を楽しむ感性を育てる	保育者や友達と一緒に歌や手あそび、リズムに合わせて身体を動かすことを楽しむ	保育者や友達と遊ぶ中で自分なりのイメージを膨らませ楽しんで遊ぶ	いろいろな素材や用具に親しみ友だちと工夫して遊ぶ	友だちと歌ったり踊ったりして1つのものを作り上げる楽しさを味わう	表現 ・自分のイメージを動きや言葉などで表現したり演じて遊ぶ楽しさを味わう ①幼児期の終わりまでに育つことが望ましい10の姿 ①健康な心と体で自立し協調性・適応性・規範意識の芽生える ②社会生活との関わり③思考力の芽生え④自然との関わり・生命尊重 ⑤数量・図形・文字等への関心・感覚・言葉による伝え合い ⑥豊かな感性と表現
	食育	もくもくごっこを楽しむ	食べることを楽しむ	意欲的に食べるようになる	食材に興味を持ち、楽しく食べながらマナーを身につける	友だちと一緒に作ったり食べたりすることの楽しさを知る	食育 ・食事が健康や成長につながることを意識し、感謝の気持ちを持つ
健康支援	<ul style="list-style-type: none"> ○健康・発育・発達状態の把握 ○登園児及び保育中の心身状態や家庭生活・養育状態の把握 ○便秘・尿・ぎょう虫等の検査 ○内科・歯科健診 ○保健だより ○異常が認められた時の対応 ○離乳食児・アレルギー児への個別生活支援 					特色ある保育	<ul style="list-style-type: none"> ○園バスでの園外保育活動 ○様々な栽培育苗活動 ○文化的活動(年長児の日舞・和太鼓・剣道) ○計画的な体育指導 ○たてわり保育やなかよし保育による異年齢交流 ○食育の一環としての調理員と連携したクッキング活動
環境・衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> ○施設内外の設備・用具等の清掃及び消毒 ○安全管理及び自主点検 ○職員健康診断 ○調理員の快便 ○感染予防対策の実施及び保護者との情報共有 					研修計画	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的な園内研修(園内研究・食育・和太鼓・リズム・体育など) ○各種園外研修への計画的参加(保育方法・給食・アレルギー・障害児保育・家庭支援・行政等) ○保育計画 ○安全・防災・保健・衛生 ○動植物・食育・自然環境 ○室内遊具・教員環境 ○特別室・戸外環境 ○行事・活動備品環境 ○各課委員会を設置し、現状把握・分析・整備を行い、保育環境の向上を図る
安全対策・事故防止	<ul style="list-style-type: none"> ○毎月の避難訓練(火災・地震・不審者対応) ○消防点検 ○交通安全指導 ○救命講習会(AEDを含む) 					職員 保 育 委 員	<ul style="list-style-type: none"> ○特別室・戸外環境 ○行事・活動備品環境 ○各課委員会を設置し、現状把握・分析・整備を行い、保育環境の向上を図る
学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校との情報交換会 ○幼年期教育委員会 ○認定こども園保育要録を小学校へ送付 ○小学校見学・体験 ○園行事への参加呼びかけ ○中学生の保育体験授業及び職場体験 ○保育者養成校の保育実習等 					自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ○毎週・毎月ごとに保育を見直し、改善していく ○職員間評価によるピアリング ○職員による保育環境研究委員会での評価

部会名	活動方針及び予定する内容	部会メンバー
安全・防災環境	<ul style="list-style-type: none"> • 避難訓練 監査により指摘があった内容を見直し計画を立て直した。 • 交通安全 給食の時間を利用して、月に1回交通安全クイズなどを放送して、交通安全を意識づける。 	
保健衛生環境	<ul style="list-style-type: none"> • 衛生面・健康面（手洗い・うがいなど）に関心が持てるように呼び掛けていく。 • 殺菌庫当番表を作り、各クラスの玩具を清潔に保てるようにする。 • シャワー室の管理をする。 • 広報掲示物環境委員会とコラボをして、玄関の壁面を作成する。 • 保育園の美化活動（駐車場・側溝など） 	
自然環境	<p style="text-align: center;">『 Natural nature 』 ～知らないを知ると、必ず、興味が湧いてくる～</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 飼育・栽培環境維持、管理 ◎ 保育活動と環境の直結（子どもたちが自然と興味を示すような環境づくり） ⇒園庭に自然を☆ ◎ 保育者への周知。保育者が興味をもてるように保育者への働きかけをする。 <p>まずは、 保育者が知ろう！触れよう！興味を持とう！</p>	
視聴覚環境	<p>☆好奇心いっぱい☆わくわく・ときどき</p> <ul style="list-style-type: none"> • 昨年度に引き続き保育園と家庭がつながる方法の1つになるように、お家でも「読んでみたい！」と感じられる、季節や行事に関わる絵本を広報委員会などと連携しながら、玄関先で紹介していく。 • テレビ視聴も充実していけるように新たな番組を録画、DVD化していき、活用していけるようにする。 • 破損している紙芝居を前半までに補強していき、後半は見やすく使いやすい紙芝居コーナーにしていく。 	

<p>教材・廃材環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> •よく使用する教材以外も単価を提示して節約を心掛けるようにしていく。 •広報・掲示物委員会と連携を行い、廃材を利用してお家でも簡単に作れる作品や玩具を玄関などに掲示していく。(なかよし保育や日々の保育でも取り入れる。) •定期的に教材室の整理整頓を行い片づけやすい環境づくりをする。 •保育で使用したいものがあれば購入するのでボードに記入をお願いします。 	
<p>広報・掲示物環境</p>	<p>『Twinkle posting』</p> <ul style="list-style-type: none"> •玄関ホワイトボードや園庭側掲示板など、親子や地域の方の会話の種・笑顔のもとになるような掲示の方法を考え、掲示していく。 <p>→明るく綺麗で整った掲示を意識していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> •玄関ホワイトボード付近の掲示は、他学年との交流を深める一つのきっかけ作りとして、異年齢で関わりながら、製作を楽しむ機会を作っていきたい。 •今年度も他の色々な委員会と連携をし、掲示内容の幅を広げていきたい。 •明照名人の張り替えなど、古くなってきた掲示物の見直しをし、新たな物を作成する。 	
<p>遊具・教具環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> •定期的に遊具・教具の点検を行い、破損したものの補修・危険な物は破棄を検討する。→安全第一！子どもにとってより充実した遊び環境を作る♪ •よりその遊具の楽しさを引きだしていけるような遊びや使い方の提案を行う。 •室内玩具や教具の入れ替えの呼びかけをする。→子どもの姿や成長に合わせて各学年保育者で入れ替えを行っていこう♪ •新しい玩具の購入の検討と、家庭へ使わなくなった玩具寄付の呼びかけを行う？ 	
<p>保護者チラシ・用品</p>	<ul style="list-style-type: none"> •自肅中に、配布ができなかったため、自由に持ってもらうように玄関に置いた。 ※持っていった数…ままごはん(約60部) ママゴン(約40部)てにてお(約50部) この結果から、保護者にはあまり必要でないように感じられたので全員配布をやめて、各事務局に必要な冊数を伝え、「ご自由に」のコーナーを作り、配布する予定。 •現在…キラキラ、ままごはん…部数を減らして「ご自由に」のコーナーに置くことを了承済なら、送ってもらうようにした。 	



えかきうた

クッキング



つくって
あそぼ

おてつだい

リズム
表現

保育を家庭へ配信



たねまき

てあそび♪
うたあそび



おいも畑

新聞あそび



生活リズム
などなど...

♪ ゆきくみさんの1日♪



しっかり
じゅんびたいそう(門)



ひゃい つめたい(門)

バシャツバシャツ! きゅへい
やったな~



おみずがジャー、おててにあたる...



こっちのあしをいれて...
あたまからかぶって...



はあ~
たのしかったね(門)



あかいろで
なにになるかな~



ちしちし~
げんきになったら
びーるにはいるからね



うさぎさんに
へんしん♪



みんなで
きゅうしよく♪
ずぶーんで
びんばって
パクッ(門)



🌸 おおきくな～あれ！ 家でも、園でも 🌸

健康も心と体・自立心・協同性・道徳性・規範意識の芽生え・社会生活との関わり・思考力の芽生え

2年前に保育・教育の方針が全国的に大きく打ち出されました。

自分の人生を豊かに、幸せを感じながらたくましく生きぬく力の土台は、乳幼児期に大きく育つということがそこではっきり言われたのです。

“心の強さと 心の広さ”

「目標に向かって、たとえ失敗してもがんばる力」
「自分の気持ちをコントロールする力」
「人とかわる力」

これは私達大人にも必要な力であり、この力は、自分を受けとめてくれる【安全基地】という存在があることでしっかり育っていきます。

私達大人がどのように関わることによって、子どもの育ち方も大きく変わります。

難しいけれど、まずは、子どもの見えない心や育ちに気づけることが大切ですね。

大阪府教育委員会
「未来に向かう力」より

園だより
R2. 6

自然との関わり・生命尊重・数量・図形、文字等への関心・感情・言葉による伝え合い・豊か感性と表現

🌸 おおきくな～あれ！ 家でも、園でも 🌸

健康も心と体・自立心・協同性・道徳性・規範意識の芽生え・社会生活との関わり・思考力の芽生え

赤ちゃんって……？

「思いつくかな？」
生後まもなく、幸せを噛みしめ、興さの表情を区別しています。

「伝わらなかな？」
嬉しや優しい声から安心感、怒りや悲しみの表情から悲憤を感じています。

大阪府教育委員会
「未来に向かう力」より

大阪府教育委員会
「未来に向かう力」より

園だより
R2. 7

自然との関わり・生命尊重・数量・図形、文字等への関心・感情・言葉による伝え合い・豊か感性と表現

🌸 おおきくな～あれ！ 家でも、園でも | Oのたね【乳児編】 🌸

健康も心と体・自立心・協同性・道徳性・規範意識の芽生え・社会生活との関わり・思考力の芽生え

赤ちゃんの気持ちを言葉にする

子どもの思いをくみ、その気持ちを言葉にして話しかけることで、気持ちを伝える力が育まれます。

「泣き止んでくれるからいい、ではなく、泣いていいよ、と受け止めてあげて、こたえないことが大切です。」

大阪府教育委員会
「未来に向かう力」より

アタッチメント【安心基地】

不安になったり怖かったりした時に、くっつけば必ず守ってくれる大人がいることで、子どもは安心基地を確かなものにしていきます。

アタッチメントは、いつもべったりくっついているとは違いますが、守ってくれると信じるからこそ、子どもは安心して自分の力でチャレンジできるのです。

子どもの安心基地となれるよう、時には子どもの世界をそっと見守り、子どものストーリーや心の揺れ動きを感じてみましょう。

園だより
R2. 8

自然との関わり・生命尊重・数量・図形、文字等への関心・感情・言葉による伝え合い・豊か感性と表現

🌸 おおきくな～あれ！ 家でも、園でも | Oのたね【幼児編】 🌸

健康も心と体・自立心・協同性・道徳性・規範意識の芽生え・社会生活との関わり・思考力の芽生え

① 幼児期(3～5歳ごろ)の大切なことって？

目標に向かってがんばる力が育ち始める時期です。

● いろいろなこと(チャレンジ)に挑戦し、失敗しても大丈夫と受け止めてくれる大人がそばにいることが大切です。

大阪府教育委員会
「未来に向かう力」より

子どもがやりたいお手伝いを認め、感謝を伝える

お手伝いをし、それに対して感謝されることで、積極性、自尊心が育まれます。

子どもは「お手伝い」が大好きです。自分でできることを、積極的に挑戦しようとする姿、達成感や達成感を感じ、それが自信につながります。

大阪府教育委員会
「未来に向かう力」より

園だより
R2. 9

自然との関わり・生命尊重・数量・図形、文字等への関心・感情・言葉による伝え合い・豊か感性と表現

おおきくな～あれ！ 家でも、園でも10のたね【幼児編】

健康も心も体・自立心・協調性・適性・食動睡の養生・社会生活との関わり・思考力の養生

幼児期（3～5歳ごろ）の大切なことって？②
人と関わる力を育みます

大阪府教育委員会
「未来に誇りつなぐ」より

●気持ちを配ったり伝えたりする関わりを通じて、人の気持ちを感ずる力が育まれます。様々な関わりが、他の人への気遣いや思いやりにつながります。

子どもの思い通りにいかない場面でも……
話し言葉など「あやまり」をすることで、人の気持ちを感じたり考えたりする力が育まれます。

**うれしいことも、がっかりすることも
伝え合う、心づかひを育む**

思いを伝え合う
思いを伝え合うことで、人の気持ちを感ずる力が育まれます。

思いを伝え合うことで、人の気持ちを感ずる力が育まれます。

**身近な大人が
子どものモデルです**

自然との関わり・生命尊重・数量・図形・文字等への関心・感情・言葉による伝え合い・豊かな感性と表現

園だより R2.10

かけたい、聞きたい プラスの言葉 大特集！

【めがねのおうちでは…】
♡真似っこだいすき！ じょうず～♡と褒めることこころもやってくれます。

【そらねのおうちでは…】
♡自分からやってくれた時に「ありがとね」♡チャレンジしてる時に「すごいじゃん！」♡いつでも「大好き！」♡トイレに行けた時、出なくても「トイレに行けてえらかったね！」

【ゆき組では…】
♡おいしいからひと口食べてよ♡たくさん食べてくれて嬉しいな♡やってみようか♡かっこいいね

【つぎ】
♡やる前に1日目の振り返りをよくします。嫌な事があってそれを話した後に褒めかけたこと、良かったことを併せて聞くようにします。♡プラス言葉で伝えると子どもも素直に受け入れてくれる気がします♡やろうと思っただけでやったことを褒める声かけをするようにしています。♡一緒に通じながら「尊敬だなあ…」と伝えていきます。自分は大切な存在なんだと思ってもらえたら、♡さすがつぎ組さん!!というところまでやってくれます♡が多いです。♡「失敗は成功のもと！大丈夫！」と、母の失敗を励ましてくれます♡

お母さん方、さすがです！！
毎日子育てに奮闘しているからこそそのナイスで深くてもおもしろ～いプラス言葉があふれています♡
間違いない「子どもの10の姿」にもつながっていると想います！
パパパタで、イライラで、くよくよあって大変でしょうが、はたから見ると、ちょっぴり羨ましい、ご家庭でのプラス言葉を紹介しま～す！

【ほし組のおうちでは…】
♡できた時に「できたね！やったー！」本人も嬉しそうです。♡ひとりですでたの？すごーい！♡「ママがかわいいね」「ママ大好き」「ママへのプラス言葉」に慣れていても褒められます。♡ご飯を食べれない時に、「あと〇回食べてみよう」と励ますと予想以上に食べてくれます。♡プラス言葉を喜ぶ姿がなにより嬉しい♡

【はな】
♡さすがだね！♡お手伝いの後「とっても助かったよ、ありがと」というと嬉しそうです。♡上手だね、いつの間にかそんなにできるようになったの？ママびっくりだよ！♡ママから言われる前に自分で考えて行動したんだね！♡プラス言葉を伝える回数が増えて、反省…。

園だより R2.11

令和2年度 5歳児 11月 指導計画

明照保育園



※毎月の行事…身体測定・交通安全指導(路上・集合)・避難訓練・誕生会

前月の姿	<ul style="list-style-type: none"> 友だちと力を合わせて集団として表現しようとする姿があり、その中で上手くない感覚やそれをどういう解決策へ導いていくのかを考え合いながら取り組む姿があった。 運動会を経験し、その達成感や生活の中で取り組んできたことをしっかりと表現する姿があった。 	行事	<ul style="list-style-type: none"> 運動会ごっこ 乳児保育参加と試食会 年少児年中児年長児保育参加及び試食会 ・芋ほり 焼き芋パーティー ・お別れ遠足 ・七五三お宮参り 	家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> 保育参加及び試食会のメニューを決めるアンケートを配信したり、全体の日程や内容など詳しくお知らせをしていく。 お別れ遠足等の手紙を配信し、詳細を伝え協力、参加をお願いしていく。(出欠席を確認していく) 上靴や、水筒、手ぬぐいについてきつぷノートなどで伝えていく。 体調を崩しやすい時期なので、体調管理には十分に配慮してもらう。 	地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 園庭開放やひろばを通して保育園のことを知ってもらい、子ども同士や親同士が仲良くなり情報交換ができる場となるようにする。
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 苦手な事にも自分から進んで挑戦する。 感じたことや思ったことを相手に話したり、伝えたりする。 イメージしたものを自分で考えたり、試行錯誤しながら自由に表現していく。 	職員間の連携	<ul style="list-style-type: none"> 体調を崩しやすい時期なので家庭、園での子どもの様子を保育者で連絡し合い早期発見に努めていく。 子どもや保護者の様子を担任同士把握しあい、どのようなことがあってもすぐに対応できるようにしておく。 子どもが年長児としての役割をもって各行事に参加できるように、保育者同士話し合って進めていく。 				

内容	環境構成のポイント	ねらいに即した活動予定	援助及び配慮のポイント
基礎的事項	<ul style="list-style-type: none"> 戸外と室内の温度差に気を配り、暖房器具の温度調節をする。 子どもが自分で異常を伝えられる雰囲気づくりをしていく。 		<ul style="list-style-type: none"> 朝夕の気温の変化に差があるため、子ども1人ひとりの体調に異変を感じたときには、すぐに対応してくようにする。
健康	<ul style="list-style-type: none"> 自分で気温の変化に気づき、考えて衣服の着脱を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 気付けるようにその都度知らせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの思いや表現を受け止め、その子らしさが発揮できるように接していく。 健康的な生活習慣を身につけることの大切さを理解した上で、自分で考えた行動が出来るように配慮していく。また子どもたちが気付けるような言葉を選んで伝えていく。
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> 戸外に出て、友だちや保育者と一緒に体をたくさん動かして遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動やあそびに必要な道具を準備したり、環境整備をして安全に取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちひとりひとりの玩具の使い方を見守りながら、時に保育者が見本であそびを伝えていく。
環境	<ul style="list-style-type: none"> 自分のことだけでなく、相手のことも考えて行動できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちとたくさん触れ合える場をつくっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちの思いに共感したり、時には合わせるものの大切さに気づけるような言葉で知らせていく。またできる限り子どもたちの様子を見守り、子どもたちの中で解決出来るように配慮する。
言葉	<ul style="list-style-type: none"> 家族でふれあいながら遠足に参加し、積極的に行事に参加する。 秋の自然に親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 園外に必要なものを準備していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な行事の中で一人ひとりの思い、感じ方を受け止めていく。
表現	<ul style="list-style-type: none"> イメージを膨らませながら、お話や童話を聞く。 人の話を注意して聞き、相手にわかるように話す。 見たものや感じたことを様々な素材を使って、描いたり作ったりする楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 秋の図鑑などを保育室の手の届くところに置いておく。 様々な絵本を置き、子どもが興味を持つことが出来るように配置する。 連絡事項を子どもに伝え、保護者に自分で伝える機会を設けていく。 自分の道具箱や、みんなで使うものの使い方、後片付けをきちんと行い整理整頓も常に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な生活習慣を身につけることの大切さを理解した上で、自分で考えた行動が出来るように配慮していく。また子どもたちが気付けるような言葉を選んで伝えていく。 子どもたちの表情を見ながら、間をあげたりと様子を見守っていく。 子どもたちに理解しやすい言葉を選びながらつたえていくようにする。 一人ひとりの表現を受け止めていき、イメージすることに戸惑いを感じている子には他児の作品を紹介しながら、自分なりのイメージが少しでも湧くような配慮をしていく。

☆子どもの様子と自己評価・保育改善のポイント

「おにぎり屋さん♪」活動の流れ（2～5歳児）

R2. 11. 16 (月)

時間	つき組（5歳児）	はな組（4歳児）	ほし組（3歳児）	ゆき組（2歳児）
10:30	<p>おにぎりづくり（8:15～）</p> <ul style="list-style-type: none"> • おいしそうなおにぎりってどんなおにぎり？喜んでもらいたい気持ちを込めて作ろう！ • カ加減を調節してつくる。 • ラップからはみ出さないように工夫しながら作ろう。 • おにぎりの形や大きさに着目。 	<p>お金を作ろう！</p> <p>○画用紙でお金を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> • どんな形にしようかな。 • 数字はどうやってかくのかな？ • 線の上を丁寧に切ろう。 	<p>お金を作ろう！</p> <p>○お金を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> • どんなお金があるかな？ • 色鉛筆で、丁寧に塗ってみよう！ • おにぎり屋さんで使えるの楽しみだね。 	<p>朝 弁当箱・敷物を持って登園</p> <p>○先月経験した青空ランチを楽しみに、朝の支度をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 水筒のお茶を飲んでみよう！（道具の扱いに慣れる。）
10:50	<p>おにぎり屋さん準備→開店</p> <p>○遊戯室、プレイルーム、センターホールの3か所にお店を構える。</p> <p>○実体験を思い返して接客の方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 手作りの看板や声掛けを、接客を考えながらやってみよう！ 	<p>おにぎり屋さんへお買い物</p> <p>○買い物ごっこをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> • どの味にしようかな。 • お金を1つ渡して、1つおにぎりをもらう。 • サイフをなくさないように。 • お店の人に何て言えばいいのかな。ドキドキする。 	<p>おにぎり屋さんへお買い物</p> <p>○買い物ごっこをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自分で作ったお金を持って、2つ買えることを楽しみにする。 • 少しドキドキする。「これください」「お買い物できた！」 • 友達と〇〇味にした！と見せ合う。 	<p>おにぎり屋さんへお買い物</p> <p>○おにぎりチケットを使い、お店で2個と交換する。</p> <p>○保育者や年長児に見守られながら、意欲的に活動する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • どの味にしよう？ • 1…2…ふたつあるかな…。
11:10	<p>お弁当作り</p> <p>○お弁当箱の形や具材の大きさ、数を考えながら箸を使って詰める。</p> <ul style="list-style-type: none"> • どんなお弁当が美味しそう？ • 給食の先生「作ってくれてありがとう♪」 • ワクワクした気持ちを友達と共有「どこに食べに行く？」 	<p>お弁当作り</p> <p>○お弁当におかずを詰める。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 何個ずつかな。 • ここに入れたらおいしそうに見える！ • あまっているけど、みんなちゃんと入れたかな？ 	<p>お弁当作り</p> <p>○お弁当箱におかずを詰める。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 何個ずつかな。 • 1…2…3つ。全部入ったかな？ • 自分で詰めたお弁当に気持ちが高まる。「はやくたべたいね。」 	<p>お弁当を詰めてもらう</p> <p>○目の前で仕上がるお弁当に、食欲や期待感を膨らませる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • この野菜、食べられそうかな？ • ちょっとにしておこうかな？ <p>ランチ場所の準備</p> <p>○決められたエリア内の好きな場所にシートを敷く。</p> <ul style="list-style-type: none"> • いっしょに食べようよ！
11:30	<p>あおぞらランチ</p> <p>○好きな場所を友達と相談しながら決める。</p> <p>○自分で食べる準備や片付け、掃除をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「みんなで食べると美味しい」 • 「おにぎり美味しい？」喜んでもらえるって嬉しい♪ 	<p>あおぞらランチ</p> <p>○好きな場所を決めて食べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ねぇどこで食べる？ • 一緒に食べよう！ • 私の敷物と一緒にだね。 • これ、大好きなおかず。 • 苦手な野菜もおいしく感じる。 • ピクニック気分は楽しいし、おいしい！ 	<p>あおぞらランチ</p> <p>○好きな場所を決めて食べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 〇〇〇で食べる！ • 一緒に食べよう！ • つきぐみさんのおにぎりおいしいね。 • 野菜も食べられたよ。 • またあおぞらランチしたいね。 	<p>あおぞらランチ</p> <p>○普段の給食とは違う雰囲気や環境で、気持ちが高まりながら食事をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> • なんだか楽しいね。 • 苦手なものも食べちゃった！

実践レポート2

大規模保育園の人間関係づくり

愛知県・幼保連携型認定こども園 明照保育園 理事長・園長 中島 章裕

なかしま あきひろ
流れ流れて、保育の世界に入りました。園児・保護者・先生の笑顔が絶えない園をめざしています。

はじめに

さまざまな機会にいろいろな園を訪問させていただくと、いつも思うことがあります。「子どもたちがいきいきとしている園は、先生たちもいきいきとしている！」。常々、園児や保護者の方がたの笑顔が絶えない園にしたいと思っていた私は、同時に職員も働きやすい職場づくりを考えてきました。

職員の処遇改善だけではなく、退職理由で一番多いといわれている「人間関係」にも気を遣ってきまし

た。いつしか大規模園といわれるようになった本園は、今年9月時点で園児264名、施設内児童クラブ生160名が在籍しています。職員も常勤職員が50名（うち男性7名）、非常勤職員が15名います。常勤職員の平均経験年数は15年で、辞める保育者が少ないことも自慢のひとつです。

一方、非常勤の保育者には本園の元主任や元正規職員というベテランの職員も多く、子（孫）育てや介護といった生活スタイルのなかであらたな働き方を模索しているようです（私は、日本一のパート軍団と呼ん

でいますが……笑）。

オールフォーワン・ワンフォーオール

園長・主幹とは毎年1月頃に個人面談を行い、今年度の課題とともに来年度の展望や思いを聞いています。職員の気持ちによりそうなかで当初感じたことは、「一人ひとりの思いはしっかりあるのに、園全体に活かしきれしていない」ということでした。

職員も増えてきたことで、つばやきや忌憚のない意見を交わす機会がいつのまにか減ってきたためではな



いかと感じました。「職員も子どもと同じ、さまざまな環境のなかで切磋琢磨し成長していく」という信念のもと、主幹とも相談して、職員の環境づくりを検討していきました。

まずは、日ごろの担当部署・クラスから離れ、園内のさまざまな物的環境（安全防災、保健衛生、遊具・教具、教材・廃材、自然、視聴覚など）を検討するチームをつくり、経験の幅をもたせた少人数のメンバーで、つぶやきや意見を交わしやすい体制をつくりました。

同時に、同じ年齢や経験層によるチームを設け、パネルシアターなどの教材を研究する時間や、保育活動や保護者支援のあり方などを話し合える時間を勤務時間内にとれるよう、ローテーションを組んでいきました。

10年ほど続けてきたこのチーム体制により、タテ、ヨコ、そしてナメの少人数での人間関係のなかで、一人ひとりが自分らしさや保育観を



視聴覚委員会による絵本研究

出し合えるようになったと感じています。

現在は、それぞれが結びついたり、協働したりという試みが自主的になされて、結果、日々の保育の質も自ずと向上していることを強く感じています。

チームは保育者だけでなく、調理員や事務員、児童クラブ指導員も含んだ常勤職員で構成されているため、たとえば調理員からの提案で



園内研修

クッキングや野菜の皮むきの手伝い、味見当番などの食育活動も充実してきました。

調理員も、毎日子どもたちのクラスで一緒に食べることで子どもに親しみ、子どもからも「園のお母さん・お父さん」と慕われ、結果、保育と食育が大変近いものとして活かされています。

また、児童クラブ指導員のサポー

トにより、クラブ生と園児との育ち合いの交流が、夏休みだけでなく下校後の延長保育においても当たり前のように行われています。保護者のかたにとっても、卒園後のわが子の成長を見通せる場となっております。

非常勤の保育者は、短時間とはいえ、常勤を助ける「ウルトラマン」として（3分間よりは長いですが……笑）、普段の保育に加えて、廃材で教材を作ったり、誕生会のお楽しみを披露してくれたりしています。

また、園庭開放や年齢別親子ひろばのプランも立てて実践しています。日々、盛りだくさんの活動が、同時に難なく行えているのは、少数の職員チームがそれぞれの保育観や視点により計画し、常に柔軟に実行できるよう連携しているからだと感じます。

柔軟な体制ができていることで、乳児クラスと幼児クラスの保育者の往来もしやすく、延長保育でもクラ



教材研究チームによるペープサート

スを越えて顔見知りの子どもと保育者の関係ができています。大勢の職員による柔軟な保育の実現を叶えるために、LINEなど園内SNSもさまざまに活用しています（毎日職員会議をしているようなものです）。大規模園のデメリットを克服し、多くの職員がいることで多くの目が存在し、見落としがいたり気づかな



保護者支援チームによるエピソード研究

かったりしていた部分をお互いがフォローし合える園でありたいと願っています。

働きやすい職場づくり

男性社会が残るなか、女性が長く働き続けることはなかなか大変なものです。結婚、家事、育児、介護など……まだまだ、女性への負担が大



作品展で

さいのも事実です。

本園でも結婚や子育て、人間関係を理由に辞めていく職員もいました。そのため、子育て中の職員には早出や遅出の免除（子どもが小学3年生になるまで）や、一度正規職員

を辞めた後でもその処遇を保障する制度があります。

タイムカードで時間管理をし、職員間の負担も平等にしていますが、一方、「長い目で見た平等」も大切にしています。本園では、産休・育休中の職員が常時4〜5人います。若手には、子育て中の職員の分までがらばってもらいますが、自分の子育てのときに助けてくれる保障があれば不満に思うことはありません。職員一人ひとりの長い保育者人生を、互いに支え合う意識が共有されるよう努めています。

保育園は小さな社会

私は、保育園は小さな社会であるべきだと考えています。社会とは、さまざまな人びととさまざまな価値

観が混在しているところです。子どもたちが初めて経験する集団生活なので、小さな社会のなかで大切に育まれていくべきだと思います。そのためにもお互いを尊重し、認め合いながら働ける職場づくりが大切なのです。

一番の特徴は……

じつは、本園の一番の特徴は卒園児や元・現保護者が職員として多く働いていることです。これを私は、「自給自足」と呼んでいます（笑）。おかげさまでこの保育者不足の世の中でもなんとかなっています。散々、偉そうなことを書いてきましたが、これらのことがうまくまわっているのも主幹保育教諭やチーフをはじめ職員たちががんばってくれているおかげです。頼りない園長を全職員でフォローしながら、みんなで成長し合っているというのが本園の特徴です。

汐見穂幸「子ども主体の保育」の現在地」より

乳幼児期の教育・保育の大切さと保育者の重要性

- かつての日本の保育【一斉に同じことをさせ、競わせていく保育】
「保育者の配置の少なさ」→「させる保育」が中心
- 今、「子ども主体の保育」への転換期
【子ども1人ひとりが自分の取り組みたいテーマを見つけ、場合によっては
友達と協働しながら、それを少しずつレベルアップしていく】
- 主体的な保育への環境づくりのポイント
「できた・できないだけでなくプロセスでの育ちを見極める」
「議論しながら丁寧につくることに情熱を注ぐ
(カリキュラムマネジメント)」

汐見穂幸「子ども主体の保育」の現在地」より

“子ども主体の保育”にする理由

乳(幼)児の発達に関する研究の進展

例) 視力…誕生時かつては見えないと言われた
誕生時0.01→1歳0.1→6歳1.2
嗅覚…大人の数十倍高い
脳の処理能力 ……

無能扱いされることで、
人格が無視される
(人への信頼、
自分への信頼が阻まれる)

- ①乳児は無能な存在ではなく大人とは違う情報処理
感情は大人とさほど変わらない
- ②教育されて発達する領域は実は少ない【**自分で自分を発達させている**】
興味関心・意欲を持ち自分から挑むことを繰り返すことで、
新しい回路ができる

汐見穂幸「子ども主体の保育」の現在地」より

子ども主体の環境・保育=子どもがもっとも発達しやすい

★主体性とは

自分のやりたい事を自分で決める【=自分さがしの力】

私は私の主人公だという感覚

※人間には自分の事を自分で決めたい(主体性)という

強い欲求がある

汐見穂幸「子ども主体の保育」の現在地」より

主体性を保障する場の変遷

- かつては地域の中にあった→今、地域は危険な場となった
- 地域から家で過ごす子ども…群れができない(社会性↓)
指示だらけ(主体性発揮↓)
- 主体性が発揮できる場としての園が重要となってきた

※乳幼児の研究の進歩→主体性の大切さ
歴史的背景→主体性が発揮される場

園の役割が期待される

汐見穂幸「子ども主体の保育」の現在地」より

保育者の役割…上手に応援すること

- 「やりたいなあ」を上手に応援する事が最も発達理論に沿っていることが
ようやく分かってきた
- 子どもが挑みなくなる、自分で自分を発達させるような環境を作り、応援すること
- やり方が分からずあきらめていたら、こうするとできるよ等とちょっと手伝うことで、子どもが気づく
- すぐにダメと言わず「面白いねえ」等と目で応援
- 「ちがうの」「なにやってんの」「この通りやりなさい」だけでは大して身につかない…一度できてもまたすぐできなくなる

汐見穂幸「子ども主体の保育」の現在地」より

“指導する保育”と“見守る保育”

- “指導する”保育からの脱却について
過敏な子・育てにくい子を甘やかさず厳しくは、根本的に間違い
教えるが多いほど身につくものは少ない…教育の原則
- 見守る保育…1つの方法に過ぎない
教える・助ける・手伝うことがダメではない→もっと多様に考える

汐見穂幸「子ども主体の保育」の現在地」より

子ども主体の保育 まとめ

- 子ども主体の保育とは 子どもの自分さがしの応援
自分のしたいことの応援
- 子ども達の“自分さがし”(主体性)を応援することがもっとも発達を促す
- 子どもの試行錯誤(ダメだった・失敗した知識や体験)が重要

保育者に求められるもの…

それぞれの子どもの気質・求めていること・段階を見極める力